

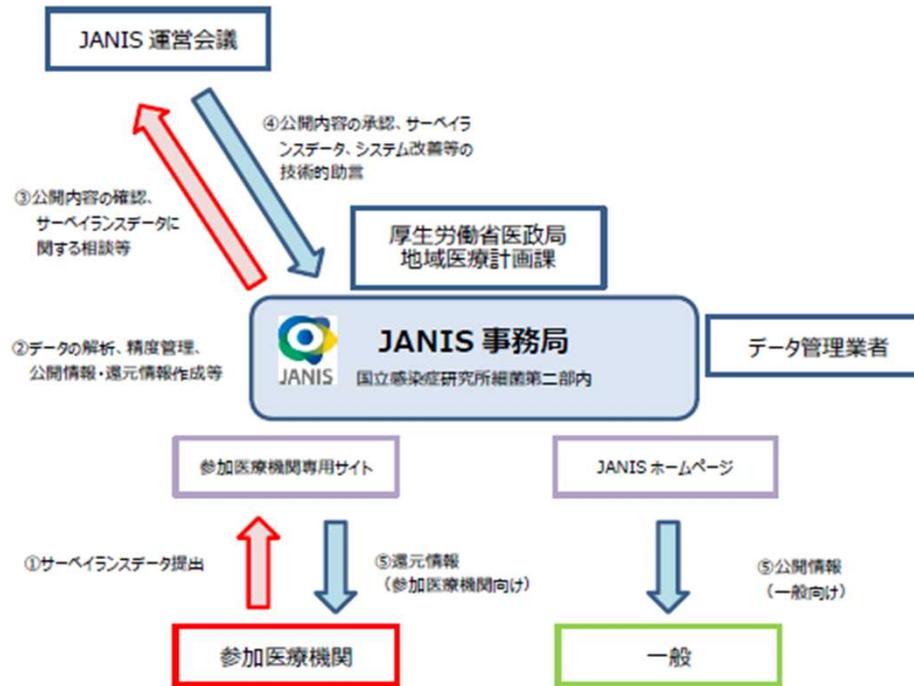
人における薬剤耐性サーベイランス

(厚生労働省院内感染対策サーベイランス JANIS)



Japan Nosocomial Infections Surveillance

JANISの運営体制



平成28 年度

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス運営会議 構成員 (五十音順)

荒川 宜親
 岩田 敏
 大久保 憲
 大曲 貴夫
 柴山 恵吾
 長沢 光章
 針原 康
 村上 啓雄

名古屋大学大学院医学系研究科 教授
 慶應義塾大学病院感染制御センター センター長
 東京医療保健大学/大学院 副学長 学部長
 国立国際医療研究センター 国際感染症センター センター長
 国立感染症研究所 細菌第二部部長
 東北大学病院診療技術部 副部長 臨床検査技師長
 NTT 東日本関東病院 副院長 外科部長
 岐阜大学医学部附属病院 副病院長 生体支援センター センター長

JANISの部門と集計データ

部門

収集データ

検査部門

分母：検体提出患者数または菌株数
分子：該当菌分離患者数または菌株数

全入院患者部門

分母：入院患者数
分子：該当薬剤耐性菌による感染症発症患者数

手術部位感染(SSI)部門

分母：該当手術手技実施件数
分子：SSI発生件数

集中治療室(ICU)部門

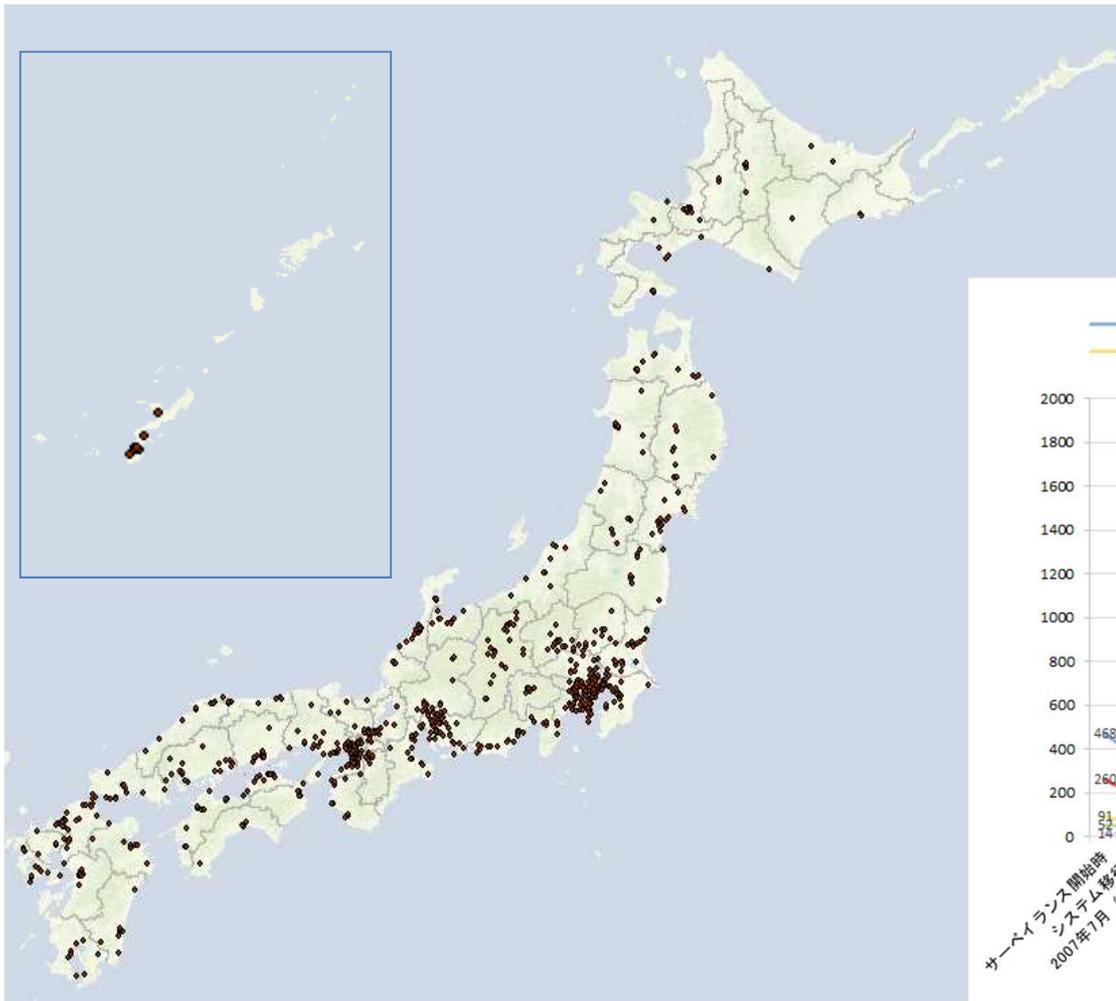
分母：ICU入室患者数（48時間以上在室のみ）
分子：人工呼吸器関連肺炎、尿路感染症、血管カテーテル関連感染症、発症数

新生児集中治療室(NICU) 部門

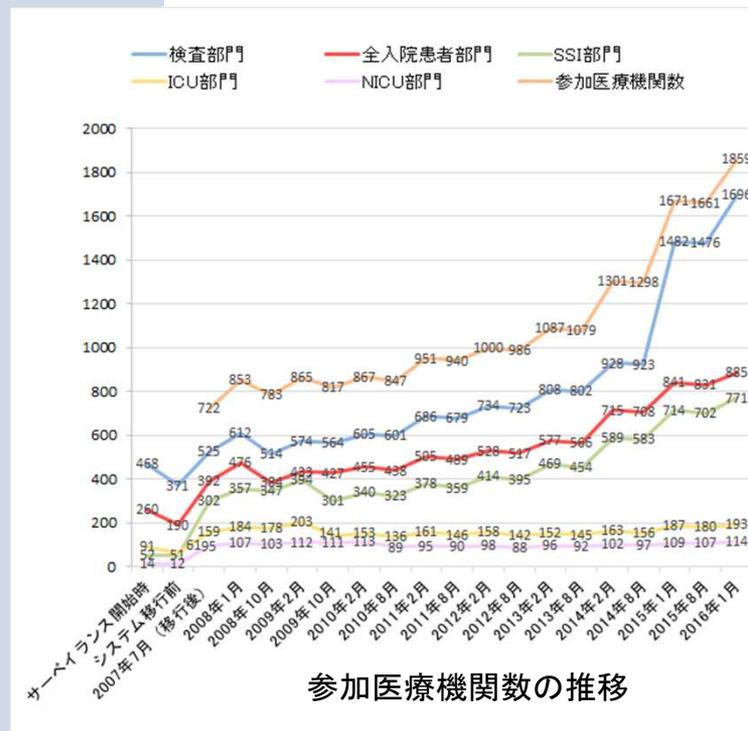
分母：NICU入室患児数
分子：感染症発症患児数

検査部門で、臨床的に重要な菌種について薬剤耐性の割合を集計している。検査部門は検査室で分離された全ての菌株(感染症発症患者ならびに保菌患者を含む)のデータを集計している。

参加医療機関

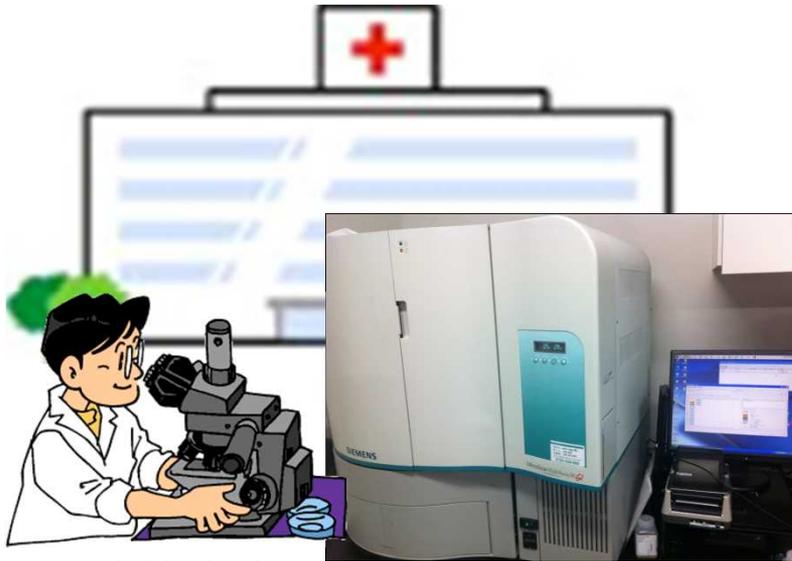


H28年度は約1,800 の病院が参加



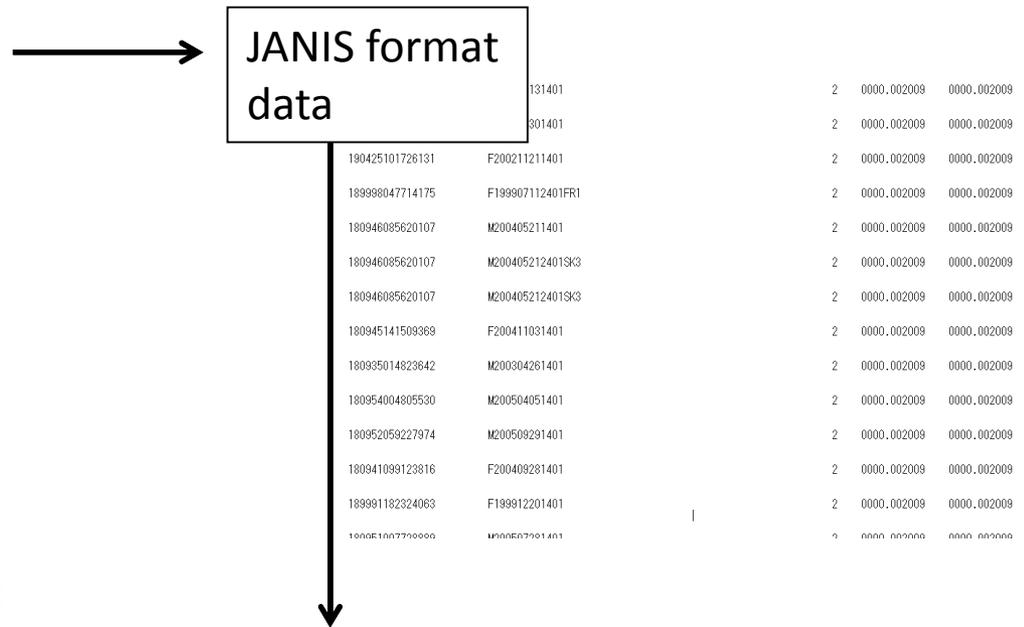
毎年、新規参加の募集を行っている。

データ収集



病院検査室

分離菌のデータをJANISフォーマットに変換



国立感染症研究所

データの集計
結果の公開

検体数、分離菌数

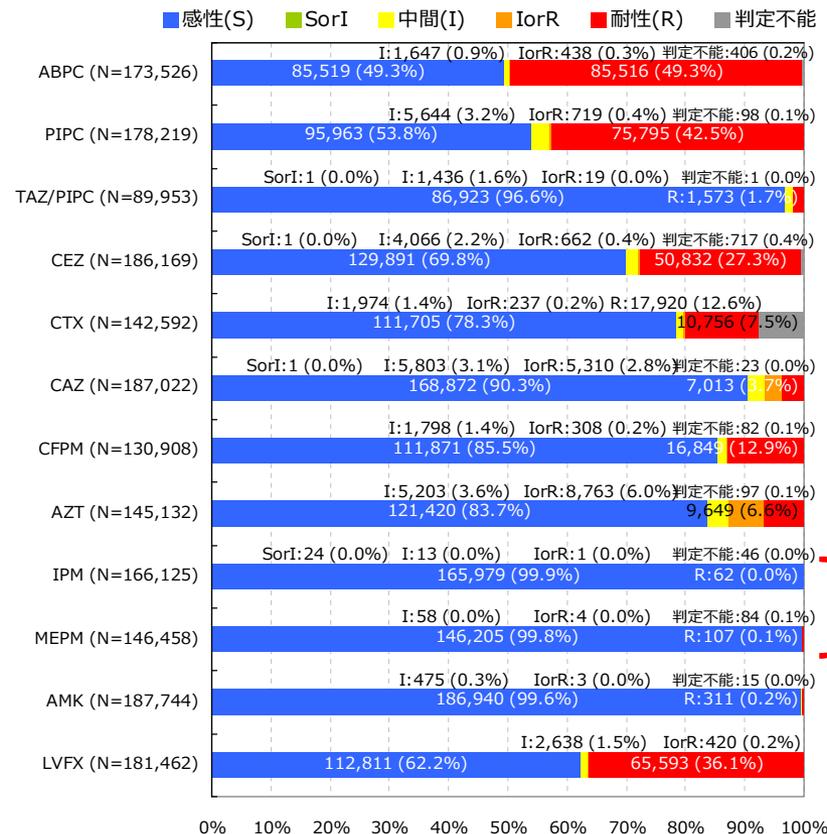
Samples	No of samples	No of culture-positive samples	No of cultured isolates
Respiratory tract	1,488,882	942,330	1,978,204
Urine	621,446	325,947	497,438
Stool	401,659	198,141	392,408
Blood	1,562,028	200,174	226,460
Spinal fluid	63,505	3,262	3,633
Others	1,000,110	460,798	817,695
Total	5,137,630	2,130,652	3,915,838

2014年 年報



7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococci†



Carbapenems

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計

抗菌薬感受性結果の重複処理(巻末参照)が行われている

*S,I,Rの判定はCLSI 2007 (M100-S17) に準拠

† 菌名コード : 2001～2007と報告された菌

集計している菌種

MSSA

MRSA

Staphylococcus epidermidis

Streptococcus pneumoniae

Streptococcus pyogenes

Streptococcus agalactiae

Enterococcus faecium

Enterococcus faecalis

Enterobacter cloacae

Enterobacter aerogenes

Proteus mirabilis

Proteus vulgaris

Citrobacter freundii

Citrobacter koseri

Serratia marcescens

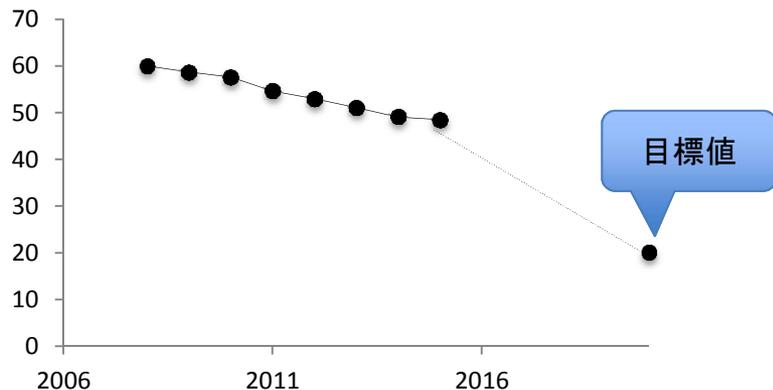
Pseudomonas aeruginosa

Acinetobacter spp.

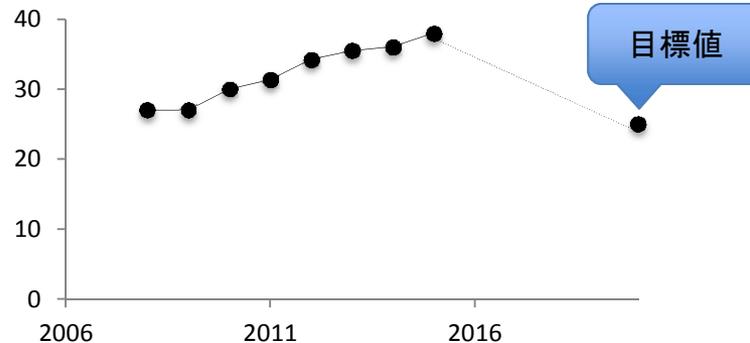
Haemophilus influenzae

薬剤耐性の推移とアクションプランの目標について

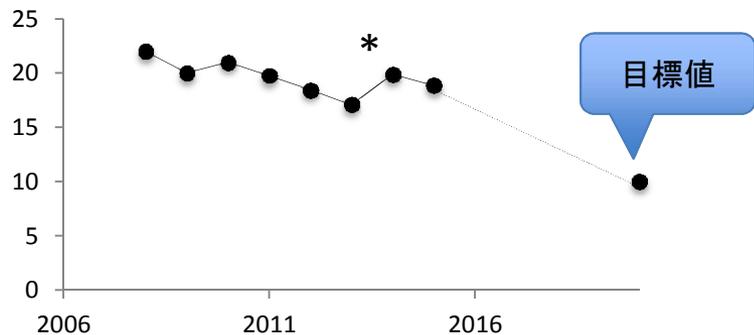
黄色ブドウ球菌のMRSA割合(%)



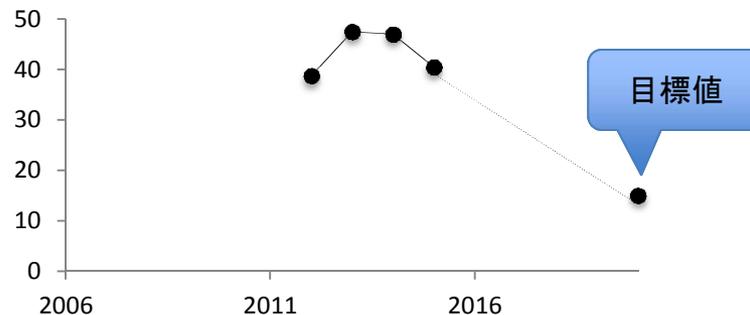
大腸菌レボフロキサシン耐性割合(%)



緑膿菌IPM耐性割合(%)



髄液ペニシリン耐性肺炎球菌割合(%)



*2014年集計からCLSI2012で判定しているため、MIC \geq 16 \rightarrow 8に変更されている。

薬剤耐性サーベイランスに関する国際協力

JANISのシステムをアジア途上国へ提供し、各国の薬剤耐性サーベイランス体制の構築を支援する
WHOが開発したラボ用薬剤耐性集計ソフトWHONETからJANISへデータを送信機能を開発する

Development of AMR surveillance

